※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（専）家庭科

教科	（専）家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭 706　保育基礎「ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ」　（教育図書）						
副教材等	LIFE　おとなガイド　デジタル＋（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達や生活、保育、子育て支援について関心をもち、積極的に取り組みましょう。

・子どもの心身の特徴や発達過程、子どもを取り巻く環境などについて、ワークショップや演習も取り入れながら理解を深め、知識を身に付けます。

・実際に乳幼児と触れ合う機会等の実践的、体験的な学習を通して、乳幼児の心身の特徴や、保育環境を整えることの重要性等の理解を深めます。

・学んだことを自分の生活や将来の生活に関わる問題と捉え、よりよい生活や職業理解を目指します。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）保育の意義や方法，子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
（2）子どもを取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（3）子どもの健やかな発達を目指して自ら学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身に付けている。子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、地域の保育や子育て支援を通じて実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1章　子どもの保育	保育の意義	a:・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 b:・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめる力を身に付けている。 c:・保育の意義について，自分自身が親や保育者になることを考えるなど，自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
		保育の環境	a:・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 ・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。 ・保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 b:・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察する力を身に付けている。 c:・身近な保育・教育施設について関心をもち、ホームページからその特色を調べるなど自ら情報を収集しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
		保育の方法	a:・保育の目標と、保育者から子どもへのはたらきかけの重要性を理解している。 ・月齢・年齢に応じた保育者の適切なかかわり方を理解している。 b:・保育所保育指針などが目標とする子どもの育ちを支えるために、保育者としてどのようなことが大切か、自分の考えをもち、話し合う力を身に付けている。 ・月齢・年齢に応じた適切なかかわり方として、具体的な声かけなどの内容を考える力を身に付けている。 c:・保育所保育指針などが目標とする子どもの育ちを支えるために、保育者としてどのようなことが大切か、自分の考えをもち、話し合うことができる。 ・月齢・年齢に応じた適切なかかわり方として、具体的な声かけなどの内容を積極的に考えようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント

※令和４年度以降入学生用

	2章 子どもの発達	子どもの発達の特性	a:・子どもの発達の共通性・個別性について理解している。 ・子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。 ・子どもの心身の発達のために、保育の環境が重要であることを理解している。 b:・母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察する力を身に付けている。 c:・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
		乳幼児の発育と発達	a:・乳幼児の発育や生理的特徴が大人とは大きく異なることを理解している。 ・発達の各側面における過程を理解している。 ・発達の過程で子どもができるようになることを，月齢や年齢に応じて挙げることができる。 ・情緒や社会性といった心の発達に関して、親や保育者との愛着形成が重要であることを理解している。 b:・地域の保育施設の子どもとのふれ合いや、保護者へのインタビューなどを通して、子どもの発達や保育者のかかわりの特徴を具体的にまとめ、発表する力を身に付けている。 c:・自身が保育者になることを想像しながら、乳幼児の心身の発達を促し、乳幼児の気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
2学期	3章 子どもの生活	子どもの健康と生活	a:・子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。 ・子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。 b:・生活習慣を題材にした絵本を選ぶ活動などを通じ、生活習慣の習得を促すための、保育者としての具体的なかかわり方などを考察し、工夫する力を身に付けている。 c: ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント

※令和４年度以降入学生用

		子どもの食事・調理実習	a:・乳幼児期の食生活の特徴や、発達に必要なエネルギー・栄養素などについて理解している。 ・子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につけている。 b:・現代の子どもの食生活の変化について、健康や生活習慣に関する課題を見つけ、自分の考えをまとめ、発表する力を身に付けている。 ・料理を作る際に、食べやすさや栄養素のバランス、アレルギーに配慮するなど、工夫する力を身に付けている。 c:・保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。 ・調理に関心をもち、調理実習に積極的に参加している。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
		子どもの衣服と寝具	a:・乳幼児の発達や生活の特徴から、適切な衣服・寝具の状態について理解している。 ・子どもの衣生活を支える着替えや衣服づくりの仕方を理解し、基礎的な技術を身につけている。 b:・子どもが快適で安全な衣生活を送るために、衣服選びや着せ方をどう工夫するべきかなど、自分の考えをまとめ、発表する力を身に付けている。 ・衣服を作る際に、子どもの生活のしやすさや安全性について考慮し、工夫する力を身に付けている。 c:・子どもの着替えやおむつ替えなどをする際にどのようにかかわるかなど、自分が保育者や親になったときを想像し、自分ごととして捉えようとしている。 ・被服制作に関心をもち、被服実習に積極的に参加している。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント

※令和４年度以降入学生用

		子どもの健康と安全	a:・子どもの健康が免疫力や衛生環境など多様な要因から影響を受けやすく、健康を守る上での保育者の役割が重要であることを理解している。 ・子どもの病気の特徴を知り、適切な看護の方法を理解している。 ・予防接種をはじめとする子どもの病気の予防方法について理解している。 ・家庭など、子どもの生活のなかで起こりうる事故の特徴を知り、適切な応急処置の方法を理解している。 b:・子どもの目線を体験する活動などを通して、家庭や保育施設における安全性についての課題を見出し、子どもを危険から守るための具体的な方法を考察する力を身に付けている。 ・SDGs の目標 3 の観点から、現代の子どもの健康課題について考察し、自分に何ができるかなど、考えをまとめ、発表する力を身に付けている。 c: ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分ごととして課題に取り組もうとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
3学期	4章 子どもの福祉	保育にみる児童観 児童福祉の理念と法規・制度	a:・世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 ・児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にかかわる施設の役割について理解している。 b:・児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめ、発表する力を身に付けている。 c:・自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。 ・保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心をもち、自分で情報を収集しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
	5章 子どもの文化	子どもの文化の意義 子どもの文化を支える場	a:・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。 b:・子どもの文化の現状を捉え、今後の課題について考察する力を身に付けている。 c: ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント

※令和４年度以降入学生用

		子どもと遊び	a:・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 ・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を理解している。 b:・おもちゃづくりなどの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。 ・現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について考察することができる。 c:・身近な地域の遊びについて関心をもち、公園などの利用状況や、遊び場を支える NPO 法人などの活動について積極的に調べようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント
		子どもの表現活動	a:・子どもの発達における表現活動の意義を理解している。 b:・表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者はどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 c:・保育施設で行われている表現活動に関心をもち、積極的に体験しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート ワークシート 実習 グループ活動 プリント

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度